看護しずおか

平成29年度定時総会
切れ目のない医療・介護提供体制構築の実現に向けて P2·3
～見えてきた地域と歩む看看連携の力～

これからよろしくお願いします！ P4～7

先人に聞く 忘れられない看護
行政保健師のあるべき姿を求めて（第5回） P9

平成29年度
VOL.2

会員数 19,315名（平成29年7月1日 現在）

- 保健師…516名
- 看護師…17,248名
- 助産師…738名
- 准看護師…813名

講演した惣万氏を囲んで

公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会 検索 http://www.shizuoka-na.jp

[静岡県看護協会]
お気軽にご利用下さい。

切れ目のない医療・介護提供体制構築の実現に向けて
～見えてきた地域と歩む看看連携の力～

平成29年度公益社団法人静岡県看護協会定時総会

平成29年6月28日（水）公益社団法人静岡県看護協会総会が、静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ大地において、出席者440名、委任状15,907名のもと開催されました。

はじめに、平成28年度に亡くなられた協会員の皆様のご冥福をお祈りし、黙とうをささげました。

開会式では、望月会長が平成24年4月に協会長に就任後、3期5年間務める中で、「看護がどう動けば地域が良くなるのか」「多職種連携推進の時代に多職種に託せない看護の役割は何か」を問いながら、事業を検証し展開しました。また、地域包括ケアシステム構築の重要な担い手として看護職には、「生活の質」「意思決定支援」「健康寿命延伸」など、看護職が引き受ける役割が多々あります。その役割を果たすための組織基盤の強化、政策力の強化が必要であると挨拶をしました。

静岡県看護協会長表彰　受賞者

その後、平成28年度各賞受賞者14名の紹介が行われ、会長よりお祝いが渡されました。続いて来賓の方々より祝辞をいただきました。

平成28年度の事業報告、決算書（案）の承認と監査報告、平成29年度収支予算と事業計画の報告が行われました。事業計画は、平成28年度の評価をふまえ、4つの重点項目として、1.病院・施設・在宅の地域連携の強化推進　2.時代の要請にあった看護職の育成　3.健康で働き続けられる職場改善の推進　4.地域における看護職の活動推進があげられました。次いで日本看護協会に関する報告、平成29年度日本看護協会通常総会報告が行われました。

山口健康福祉部長を表敬訪問

平成29年7月5日　新たに選任された渡邊会長を始め、柏崎専務理事、鈴木常務理事、牧野常務理事、前望月会長が県庁の山口健康福祉部長を表敬訪問しました。当日は、山口健康福祉部長、鶴田静岡県理事、池田健康福祉部長代理の温かい歓迎を受けました。

健康福祉部長室にて

特別講演

今地域の中で看護職が出来ること、やるべきこと

～人々がこの町で暮らしてよかったと思えるために～

惣万 佳代子氏

NPO法人デイサービスこのゆびとーまれ　理事長

【プロフィール】

平成　5年3月　富山赤十字病院を退職
平成　5年7月　民営デイケアハウス「このゆびとーまれ」を開所
平成16年6月　内閣府･第一回「女性のチャレンジ大賞」受賞
平成17年9月　内閣府総理大臣表彰　男女共同社会づくり
平成19年8月　宅老所　グループホーム全国ネットワーク　代表世話人
平成27年8月　第45回フローレンス･ナイチンゲール記章　受賞

「このゆびとーまれ」は、富山赤十字病院の看護師3人が、赤ちゃんからお年寄りまで、また、障害者(児)も含めたデイケアです。上手に行政に働きかけ、縦割り行政ではない柔軟な補助金を引き出した本当の意味でのノーマライゼーションである「このゆびとーまれ」を「富山型」と呼び、今では滋賀、長野、愛知、徳島、熊本、佐賀等に広まり、全国では1400箇所以上で提供されています。平成30年度の介護保険改正時に18人以下の「共生型デイサービス」が認められる予定です。

病院で「家に帰りたい」「畳の上で死にたい」と泣いているお年寄りや、病気は治っても認知症で家に居たくてもいることができないお年寄り達と接し、看護師として働いていることの限界を感じた。また、大規模な老人ホームでまるで生きる気力を無くしているかのようにお年寄りたちが全く話もせずに一日を過ごしている姿を見て、「コロニーを作ってはいけない、豊かな人間関係の中で人は輝く」と思った。「認知症のお年寄りを預かれば、嫁さんは働ける」と思い、「このゆびとーまれ」を開設した。看護の対象は「すべての人」だから、子どもも障害者（児）も利用できるようにし、個別に関わるようにした。高齢者が子どもといっしょに笑ったり、怒ったり、歌をうたったりすることはどんなリハビリよりも優れている。認知症のお年寄りが孫に接する愛情ある笑顔を見て、子どもがいれば特別にリハビリなんてする必要がない、と言う。

また、「このゆびとーまれ」の看取りの事例を紹介し、看護師の役割は「本人と家族が望まないことはしない」「その人の願いや思いを叶えること」だと話されました。みんなが暮らしやすい社会、生きていてよかったと思う社会、「特別な人」がいない社会を創りましょう、その社会を支える看護師でありたい、看護の場面でもユーモアを忘れないでほしい、と述べていました。

「キャップは軽い、それに課せられた責任は重い」と自身の戴帽式で贈られた言葉を心に留め、「看護の道を選んで良かった」と話す惣万氏の講演は、富山弁が飛び交うユーモアと人間愛にあふれ、時には涙するものでした。

惣万氏の講演会に参加した会員からは「静岡にもこんな施設があるといいな」「社会の中で看護師に求められることを再確認しました」などの声が聞かれました。

講演を行う惣万氏

惣万氏の著書「笑顔の大家族 このゆびとーまれ」

これからよろしくお願いします!

平成29年度の役員を紹介させて頂きます。

会長 渡邊 昌子

平成29年度公益社団法人静岡県看護協会通常総会において信任を賜り、県看護協会会長に就任いたしました。この大役を役員、会員の皆様のご支援、ご協力を得て全力且つ楽しく務めたいと思っております。

医療を取り巻く環境の変化により様々な課題が山積し、医療と生活の視点でケアができる看護職の役割は益々拡大します。そのため日本看護協会が表明した看護の将来ビジョン「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」の実現に向け、「看護の質の向上」と「働き続けられる職場環境づくり」の更なる推進が重要となります。

会員の皆様の声を大切に事業政策に係る情報の速やかな提供と共有を図り、看護職が誇りと責任、やりがいをもって役割遂行できるよう努めて参ります。また今年度5施設が取り組む地域包括ケア推進モデル事業の成果が得られるよう支援し、更なる地域包括システム構築の推進に尽力いたします。皆様のご協力、ご支援よろしくお願いいたします。

副会長 平井 弘美

二年間の副会長職の活動を通じて、本会が医療・保健・福祉分野において担っている役割は、格別に大きなものがあることを実感しております。

これまで「地域包括ケアシステムの構築」を重要課題として取組んで参りましたが、地域に様々な形でこの整備が進みつつあり、この過程で看護職への期待と要請が一層大きく、具体的なものになっております。

看護師、助産師、保健師がそれぞれの役割を担い、協働してこのニーズに応えることが大切であると考えます。さらに、行政、医療、施設、団体等との連携・協調に努めて参ります。

また、職能団体の基盤である専門職の教育・研修、職務環境づくり、職能・支部活動などの事業については、一層の充実・拡大を図るよう調整に努めてまいります。

ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

副会長 間淵 元子

就任に当たり、改めて自分の強みは何なのか、協会における役割と立場をどう果たしていくのか考えてみました。当初は現役であること、看護協会の仕事の経験がないことを弱みと捉えていましたが、今はそれを強みに変えて頑張っていこうと考えています。かつて看護学校の教員として看護教育に携わったことや、東部地区の小規模病院の看護部長の経験があることも活かせると考えています。つまり、地域の特徴や現場の声を、共感を持って受け止め、そこにある課題を明らかにし、静岡県看護協会として何ができるのかを考え行動する、それを積み重ねていくということです。

医療・看護が病院から地域へパラダイムシフトしていくなかで、人々の幸せは看護・介護の手に委ねられているといっても過言ではありません。看護職が期待される役割を認識し、自らの生涯を通じて生き生きと仕事が続けられるように環境整備や人材育成に取り組んで参ります。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

専務理事 柏崎 順子

地域包括ケアシステムが推進される中、各地域で看護連携事業が動き出し成果を上げています。各委員会では、時代の要請に応えた活動が行われています。専務理事として2年が経ち、看護協会活動の主役である会員の方々の強い集結力を感じております。今後も時代の要請にぶれる事なく、会員とともにある協会運営に邁進いたします。

常務理事 鈴木 千春

地域における領域の異なる看護職連携の基盤ができるよう支援し、主体的に地域の関係職種がつながる地域包括ケアの構築を図ってまいります。

働き続けられる勤務環境等改善支援を継続し、看護職の確保・定着への取組みに努めます。

常務理事 牧野 明美

今年度より常務理事に就任いたしました。少子高齢化の中で看護職に求められる役割が拡大しています。看護職の皆様が人々の健康な生活を支援し、あらゆる場で役割が発揮できるよう教育活動をとおし人材の育成に取り組んで参ります。公益法人の教育担当としての役割をしっかり担えるよう努めて参ります。

保健師職能理事 渥美 恵子

保健師に求められる活動内容は拡大し、変化してきております。今後も職能としての力量形成を図るため情報発信と併せて各領域で活動している保健師との連携強化に取り組んで参ります。

助産師職能理事 西郷 美智子

少子高齢化の時代、大切な子供たちを守るために、妊娠期から子育て期までの切れ目のない看護・助産機能の強化が必要です。助産師が自律して助産ケアが提供できる実践能力を有し、また仕事に喜びや自信を持ちながら働き続けられるように活動していきたいと思います。

看護師職能理事 松本 志保子

住み慣れた地域での在宅療養を最期まで支えるためには病院看護はさらに重要となります。地域の誰にどのようにバトンタッチをすることが最善かを考え、関連職種と連携、協働しながら「いのち・くらし・尊厳をまもり支える」看護を実現できるよう活動を進めます。

看護師職能理事 松井 順子

「わが事・丸ごと」地域共生社会実現に向けて「支える側」と「受けて側」に分かれるのではなく、あらゆる住民が役割を持ち、支えながら「丸ごと」としての地域コミュニティを作っていく時代だと思います。そんな時代だからこそ、在宅・施設の看護の専門職として、今までの経験を活かし地域作りに積極的に関わり、皆様の期待に応えられるよう活動していきます。

地区理事（賀茂）正木 晶子

多々ある地域の問題をあらためて捉え、地域住民が住み慣れた場所で安全に安心して暮らせるように、看護職間・他職種・行政そして地域住民と連携しながら健康の保持・増進に努め、また防災意識を高め看護職の担う役割を発揮できるような活動を計画し取り組んでいきたいと思います。

地区理事（熱海・伊東）前川 美奈子

臨床看護と地域看護に従事した年数がちょうど同じになる年に、地区理事となる事に意味を感じます。地域住民の健康増進に寄与する事業と地区会員の資質の向上に向けた事業をバランス良く企画し、会員のメリットを実感してもらえるような支部活動を目指します。

地区理事（東部）佐野 文子

超高齢化社会に向けて地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、看護師の果たす役割の大きさを実感しています。地域住民が安心して暮らせるよう、関連部署との連携・協働しまちの保健室や地域防災等の地区支部活動を推進していきたいと思います。

地区理事（富士）髙橋 ハマ子

地域包括ケアシステムが推進され、看護師の地域で果たす役割の重要性は大きいと実感しています。関係職種との連携を深めるとともに、看護師の専門職としての役割を認識し、地域住民とのつながりを大切にしながら、役員・会員と協力して地区支部活動を行っていきたいと思います。

地区理事（静岡）櫻井 郁子

地域医療構想が策定され、構想実現に向けての動きが加速する中、地域の人々がその人らしく生活できるように支援する看護師の役割はさらに重要になってきます。会員一人ひとりが力を発揮し、地域住民のニーズに応えられるように、様々な方達と連携を取りながら、地区支部活動を推進していきたいと思います。

地区理事（志太榛原）平野 一美

地域住民が住み慣れた地域で可能な限り自分らしい暮らしを続けられるよう、看護職が中心となって地域包括ケアシステムを推進する重要な役割があります。役員と会員、そして多職種や行政と協働しながら地区支部活動を頑張っていきたいと思います。

地区理事（中東遠）八木 純

安心して療養できるためには、地域の力が重要です。地区支部活動を通じていろいろな情報を発信していきたいと思います。皆さんが、地区支部活動に関心高く、気軽に参加して頂けるように活動していきます。

地区理事（西部）鈴木 恵美子

地域住民の健康保持・増進に貢献できるよう看護活動を推進するとともに、社会・医療・看護の動向をふまえた研修事業を企画・運営してまいります。地区役員および会員の皆様と地区活動を通して「人々の元気を創るライフサポーター」の任務を果たしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

准看護師理事 若杉 佐知子

初めて、准看護師理事となりました。資質向上のため准看護師が、スキルアップやキャリアアップを前向きに考えていくことは大切なことだと思っています。看護職がやりがいを持って安心して働き続けられ、地域の皆様の健康な生活へ貢献できるよう、協会の仕事を学びながら役割を果たせるよう努めていきたいと思います。

学識経験者理事 大岩 茂則

静岡県医師会から理事に就任させていただきました。地域医療構想など、これからの医療環境は激変が予想されます。県民市民の要望に応えられるように努力をして参りたいと存じます。医療者が連携してあるべき姿を発信していくことが求められていると思います。

学識経験者理事 松浦 康夫

誰もが安心して暮らしていくため、地域共生社会づくりが進められています。医療と福祉の連携、地域包括ケア、「我が事、丸ごと」の地域づくり、いずれも目指す方向は同じです。その仕組みづくりや、要となる人材の確保、養成は喫緊の課題で、看護協会には様々な役割が期待されています。少しでもお手伝いができればと思います。

学識経験者理事 廣瀬 清久

今年度も理事として、看護協会を支えることになりました。高齢化社会の中で、協会の持つ意義はますます高まっていると思います。組織が拡大する中で、コンプライアンスという観点から助言したいと考えています。よろしくお願いします。

監事 杉山 茂子

看護協会活動に期待されていることが拡大し、事業・教育も時代の要請に伴いたくさんの事業が展開されています。一つ一つの事業が意味あるものとして、監査役としての視点をしっかり持ちながら協会の活動に協力していきたいと思います。

監事 山元 道子

地域を基盤とした「地域包括ケアシステム」の構築に向け、看護職に求められる役割は益々大きくなっています。静岡県看護協会ではこの時代の要請にあった事業を計画し取り組んでいます。会員の代表として、静岡県看護協会の理念、監事の役割を理解し、事業計画推進のために尽力したいと思います。

監事 小野田 武

4年間監事をさせて頂き感じましたことは、約2万人を擁する大組織でありながら各支部の活動、研修事業等が年々充実されていく様子がよく理解できました。今後も貴会が益々発展され且つ、地域においてその存在が高まります様期待しております。

平成29年度第1回定時理事会報告

■ **開催日時**　平成29年5月23日(火)14:00～16:00

■ **会　　場**　静岡県看護協会第1会議室

出席理事19名、欠席理事3名　定款38条に基づき、定足数11名を満たしていることを確認
出席監事2名、欠席監事1名

1.協議事項（すべての事項について承認される）

(1)静岡県看護協会学識経験者理事・監事候補者について
(2)平成28年度事業報告(案)について
(3)平成29年度定時総会議案について
(4)平成29年度定時総会静岡県看護協会会長表彰について
(5)静岡県看護協会「職能委員会」「委員会」委員の選任について

2.報告事項

(1)平成29年度静岡県委託事業の受託について
(2)平成29年度特別委員会について
(3)関係機関、関係団体の役員、委員の就任について
(4)会員入会の申請状況

平成29年度日本看護協会通常総会報告

代議員　市川幸子

平成29年度日本看護協会通常総会が6月7日(水)、全国職能別交流集会が8日(木)に千葉県の幕張メッセで開催されました。代議員745名、静岡県からは21名の代議員が参加し、総会全体の参加者は代議員も含め3390人でした。

千葉県看護協会の星野恵美子会長のあいさつに続き、本総会で退任される日本看護協会の坂本すが会長より3期6年の任期の間「提案にとどまらず、政策を“実現”していく」宣言の通りに実現された政策について、熱く語られました。そして「これからの看護職は、“いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護”の将来ビジョンのもと、地域の創造的変革者として活躍してほしい」というメッセージが、多くの看護職に力強く届けられました。日本看護協会長表彰では全国から138名、本県からは5名の方が受賞されました。

第1号議案では、名誉会員18名が推薦され承認されました。第2号議案では、平成29年度改選役員及び推薦委員の選出が行われ、役員選挙の結果、日本看護協会長には福井トシ子氏が、新副会長に齋藤訓子氏と秋山智弥氏、静岡県地区理事(静岡県看護協会長)には渡邊昌子氏、推薦委員の柏崎順子氏をはじめ候補者全員が当選されました。

午後の報告事項の中では、平成28年度の事業報告や決算報告及び監査報告、平成29年度の重点政策・重点事業・並びに事業計画、資金収支予算及び収支予算の報告がありました。平成29年度の重点政策は、「看護基礎教育制度改革の推進」「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築」「看護職の労働環境の整備推進」「看護職の役割拡大の推進と人財育成」の4つが示され、具体的な事業計画について説明がされました。質疑応答では、保健師・助産師・看護師たちが、それぞれの立場から質問や提言など活発な議論が交わされました。

国の状況を踏まえ、地域医療提供体制に関わる動きが加速されている中、看護職の果たす役割は多岐にわたっています。看護教育の抜本的改革も含め、私たち自身が柔軟な考え方をしながら、変化していく時代なのだと考えされられる総会でした。

第5回

先人に聞く 忘れられない看護

行政保健師のあるべき姿を求めて

平成29年度 Vol.1に引き続き平澤ヤヨイさんのインタビューをお届けします。

平澤ヤヨイさん

富士登山

「ふじさん運動と言っているのに、富士山に登ったこともないなんて言えない」といって、当初は県職員を募集して数十人の団体で登り、7合目に宿泊する予定であったが激しい風雨に見舞われ6合目までしか行けず頂上までの登山は断念せざるを得なかった。登山ができなかったことが悔しくて、次の週に数人で富士登山をしたことも思い出される。その後も富士山に何回か登り、県庁の職員・家族と共に山頂で「ふじさん運動」の横断幕を掲げPRしたことも忘れがたい。

富士山頂での記念撮影

市町村長に書いてもらった色紙

色紙のコピー

健康づくりで思い出すのは、県下の市町村長に健康に関するひとことを色紙に書いていただいたこと。健康づくりの大会の際、全員の色紙を展示して参加者に見てもらった。今でもその色紙のコピーを大切に保管している。

また、地域での健康づくりを推進していくために、68市町村に保健委員を設置し、総勢4,800余名が「ふじさん運動」に協力してくれた。保健委員に必要な知識や技術の向上と共に保健委員同士の情報交換のために県が保健委員連絡協議会を設置し、保健所職員と共に本会・支部活動を充実させた。

健康づくりが花形の時代で、メディアにも何回も取り上げてもらった。

ヨーロッパ視察研修

昭和63年には、健康・体力づくり事業財団が主催する健康づくり指導者ヨーロッパ研修団に参加し、ヨーロッパ5か国（デンマーク、イタリア、フランス、スイス、イギリス）12日間の視察研修に参加した。全国から15名の保健師と5名の栄養士が参加し、厚生省、社会保険庁、健康・体力づくり事業財団、旅行会社、総勢24名の視察団であった。5か国を1か国平均2日間の滞在で視察時間も1か所2時間と限られてはいたがヨーロッパの地域、そこに住む人々の暮らしの一端を自分の目で見ることができた。また、スイスのジュネーブにWHOの本部があることは承知していたが世界のあらゆる本部がおかれている国際都市と知り、街並みを見た時、一味違う格調の高さを感じた。

24名のヨーロッパ視察研修団

平成29年度 Vol.3 に続く

教育研修部だより

1 周手術期看護 ～手術を受ける患者・家族のQOLを高める～

教育委員　下山 美穂

熱心に討議する受講者

手術を受ける患者の心理状態を理解して、限られた入院期間の中で不安感を和らげ、手術を受ける患者・家族のQOLを高めるような関わりは看護師の重要な役割です。今回の研修は、周手術期の基本的な看護について理解を深め、患者を全人的に捉え、必要な看護ケアについての理解を深め実践につなげられることを期待して今年度新たに企画しました。

研修は、県内で活躍している3人の手術看護認定看護師による講義とグループワークで展開され、周手術期の理解から手術前、中、後の看護を、根拠を押さえながら学んでいきました。受講者は、幅広い年代（20～50歳台）かつ勤務場所も外科病棟や手術室に限らず外来や救急部門と様々でした。背景の異なる受講者によるグループワークは、相互理解を深めたり情報共有ができたりと有意義なものになっていました。「何となく行っていた看護の裏付けが出来た」「明日から良いケアができそう」と受講者の98%以上が今後に活用できる研修であったと高い評価でした。

2 一般病棟におけるがん化学療法看護

教育委員　石川 芳子

近年、化学療法は一般病棟においても多くの抗がん剤が用いられているため、安全かつ安心で質の高い看護が実践できることを目標として、今年度「一般病棟におけるがん化学療法看護」を企画しました。講師にがん化学療法看護認定看護師の松山円先生を招き、研修には92名が参加しました。講義ではがん化学療法の基本的知識、がん化学療法を受ける患者に必要な投与管理の基本的知識、がん化学療法を受ける患者の副作用とその看護、がん化学療法を受ける患者の心理・社会的支援を学びました。

グループワークも設定され、事例を用いて副作用のリスクや根拠を踏まえた客観的評価や看護について、講義で得られた知識を基に話し合うことで学びを深めることができました。質疑応答や質問用紙では新人からベテランまでの幅広い層から多くの質問が寄せられ、丁寧な回答を頂きました。また、質問の内容は技術的なことや患者対応など日常の看護についての内容が多く、各施設の認定看護師の役割発揮への期待が高いと感じました。研修アンケートでは理解度、満足度や活用度、全てが高い評価であり、今後の看護実践能力向上につながる研修となりました。

講師の松山先生と受講者

事業部だより

●平成29年度「看護の日・週間」記念行事開催

看護の心をみんなの心に 富士・東部・熱海伊東・賀茂地区支部テーマ **住みなれた地域でくらしを支える看護**

「看護の日・週間」記念行事が、平成29年5月13日（土）イオンタウン富士南において開催されました。当日は、あいにくの雨模様でしたが延1,693人の参加者があり盛況な一日でした。アンケート（171名）から89%の方が満足した、96%の方が看護の仕事に理解を得るきっかけになったと回答されました。

（イベント内容）
・健康チェック（血圧・骨密度・脳年齢測定、足指チェッカー）　・各種相談（訪問看護・地域包括支援センター・食育）・看護職への就業相談・進路相談・タクティールケア
・バルーンアート・プリティーナース撮影会・看護の日:地域看護のある風景写真展
・ステージ披露:キッズジャズダンス、ジャグリング、花架拳

相談する参加者

●看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業 キックオフの会開催

5月16日、「病院から地域への切れ目のない看護の提供」を目指す5モデル地域から、総勢40名が看護協会第1研修室に集まり、キックオフの会を開催しました。平成30年3月末までの1年間、主体的に地域の病院、福祉施設、在宅に携わる地域の看護師をはじめ関係職種がつながり、活動していくことをワークショップで確認しあい、地域包括ケアの実現に取り組むスタートを切りました。

キックオフの会

祝第5回カンゴサウルス賞受賞！

平成29年5月18日、伊東市民病院、有隣厚生会富士病院、菊川市立総合病院は、第5回カンゴサウルス賞を受賞しました。看護職のWLB推進事業に参加し、3年間継続して看護職による働き続けられる職場づくりに取り組んだ医療施設に送られますが、今後の更なる発展を期待することを目的とされています。

●再就業支援コーディネーター、施設訪問スタート!

再就業支援コーディネーターは、届出制度（とどけるん）の徹底、eナースセンター登録を促進し、離職中の看護職の早期復職に向けた支援活動をしています。届出制度は会員の協力により登録数が増えています。また、施設訪問は下田メディカルセンター、静岡リハビリテーション病院に行き、届出制度や人材確保に関する情報提供を行いました。

●看護学校等進路相談会

6月17日（土）プラサヴェルデ342人、6月24日（土）クリエート浜松393人、7月1日（土）グランシップは402人の高校生および社会人の看護を志望する方々の来場がありました。保護者の方々の参加も増えています。県内23校による説明ブースや現役の看護学生や看護師が対応する相談コーナーで熱心に話を聞き質問している姿がみられました。一人でも多くの方が看護の道に進んでくださることを期待しています。

進路相談会の様子

お知らせ

（1）高校生1日ナース
7月24日～8月24日の夏休み期間、看護に関心を持つ高校生1,632人（128校）が県内97病院で1日ナースを体験します。

（2）移動相談inハローワーク
今年度から、ハローワーク御殿場・細江でも就業相談を実施しています。県下13のハローワークに看護職の就業相談員が出向き、就業についてご支援します。お近くのハローワークにお出かけください。
開催時間:午前9時～12時　予約不要

	富士	沼津	三島	御殿場	清水	静岡	焼津	島田	掛川	浜松	磐田	浜北	細江
8月	—	☆8日	☆22日	—	☆8日	☆9日	22日	—	7日	☆9日	—	8日	—
9月	13日	☆19日	—	☆26日	—	☆13日	—	☆26日	4日	☆13日	☆19日	—	☆19日

☆:求人施設が参加するミニ相談会を実施

（3）再就業準備講習会9月～11月の予定

実施施設	実施日
藤枝市立総合病院	9月5日（火）・6日（水）・7日（木）
聖隷三方原病院	10月18日（水）・19日（木）・20日（金）
沼津市立病院	11月15日（水）・16日（木）・17日（金）

募集人員:各施設20人
費用:無料
保育費:一部支援有

参加者の声

20年以上のブランクがあるが、看護界の変化や医療の現状を知り、看護技術練習を体験したことで不安が少し減った。同じように悩んでいる仲間に出会い再就業の勇気をもらえた。

（4）看護職員介護施設等再就業研修
3日間の日程で2回開催予定（詳細はホームページに掲載します。ご確認ください）

	第1回	第2回
日程	10月13日（金）・18日（水）・26日（木）	平成30年2月予定（3日間）
場所	看護協会会館	
内容	高齢者・認知症看護に関する知識、演習、介護施設見学など	

（5）ナースセンター発信のメールマガジンにご登録ください。
再就業を考えている方、定年を迎える方等に、就業支援の情報を毎月お届けしています。
登録は無料で、ナースセンターホームページから登録できます。お気軽に!!

（公社）静岡県看護協会 静岡県ナースセンター

本　　所／TEL 054-202-1761　FAX 054-202-1762
東部支所／TEL・FAX 055-920-2088　下田相談所（毎週木曜日9:00～16:00）／TEL 080-2650-0327
西部支所／TEL・FAX 053-454-4335　天竜相談所（毎週火・金曜日9:00～16:00）／TEL 080-2650-0237

悩みは誰かに話しましょう。　話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。お気軽にご利用ください。　[専用ダイヤル] **054-202-1780**

information

看護協会総務部からのお知らせ

ご存知ですか？ 看護協会の福利厚生事業

慶弔見舞金規程に応じて、本会会員に慶弔見舞金を贈ることとしています。

受章等祝金、罹災見舞金、傷害見舞金、死亡弔慰金があります。

災害、弔事に該当する場合は、
すみやかに総務部（TEL.054-202-1750）へ
お知らせください。

保健師職能委員会　平成29年度 保健師研修会のお知らせ

■日　　時　平成29年9月9日（土）13:30～16:30
■場　　所　静岡県看護協会　第一研修室
■内　　容　●講演「糖尿病性腎症の重症化予防を目指した保健指導」
講師　静岡県立大学食品栄養学部栄養生命科学科
教授　熊谷裕通　先生
●講演　「指導困難な対象者への効果的な栄養指導」
講師　管理栄養士（予定）
■対　　象　県内企業・行政に働く保健師
■受 講 料　看護協会会員　無料　会員外は、100円
■申込期限　平成29年8月15日（火）
■申込方法　FAX 又は ホームページ
■問合せ先　総務部　054-202-1750

医療安全情報 平成29年度 第2弾　医療安全推進のための取り組み

働き続けられる職場づくり推進委員会

4月に入職された新人の皆さんも、ひとりで行う業務が増えてくる頃ではないでしょうか。しかしながら、慣れてくるこの時期に思いがけぬ事故が起こりやすいものです。
第2弾は「ベッド操作時のサイドレール等のすき間への挟み込み」を取り上げます。患者の身体の位置を確認せずベッドを操作したことにより、サイドレール等のすき間に身体の一部が挟み込まれる事例が報告されています。

引用:公益財団法人　日本医療機能評価機構　医療安全情報　URL:http://jcqhc.or.jp/

事故が発生した医療機関での取り組み

↓

ベッドを操作する際は、サイドレールのすき間や患者の身体の位置を確認してから行う

【参考】日本看護協会「医療安全推進のための標準テキスト」（平成25年発行）このテキストは日本看護協会のHPからもダウンロードできます。
公益社団法人 日本看護協会看護開発部看護事業課　日本看護協会　検索　http://www.nurse.or.jp

クイズに答えると、抽選で5名様にクオカードが当たる！

クイズ

次の4文字熟語の□に入る語を並びかえてひとつの熟語を作ってください。

	類	□	者
一	□		秋

答え. □ □

応募方法

葉書又はメールに答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。
正解者の中から、抽選で5名の方にクオカード（1,000円分）を差し上げます。
当選者は「Vol.3」に掲載させていただきます。（ペンネーム可）

右記内容をご記入のうえ、応募してください。
●答え　●氏名　●所属　●電話番号　●〒　●住所
●看護しずおかの感想　●看護協会へのご意見

お寄せいただいたご意見・ご感想は、看護しずおかに掲載させていただく事があります。

締め切り 8月25日（金）消印有効

葉書の場合の宛先
〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会 総務部 看護しずおかクイズ係
※はがきが62円に値上がりしていますのでご応募の際はご注意下さい。

メールの場合の宛先
メールアドレス
kango@shizuoka-na.jp

当選者　「Vol.1」のクイズの答え：初夏

ペンネーム チョビ様 ・ 下野あいこ様・ペンネーム 黒豆子様
ペンネーム りんね様 ・ ペンネーム もやしヘアー様

公益社団法人 静岡県看護協会
〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階
TEL.054-202-1750／FAX.054-202-1751　編集責任者:渡邊昌子
平成29年7月25日発行